



かえで

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 上里東小学校

令和2年 12月14日

第 14 号



4年生男子スタート!

「負けるな！」

左の写真は、先月行われた持久走大会のもので、自己ベストを目指して最後まで力を尽くす子供たちの姿をたくさん見ることができました。速いスピードで長い距離を走り抜いた子、ゆっくりだけど自分のペースで走り抜いた子、走っている様子は様々ですが、みんな真剣そのもの。走っている途中で苦し

くなる場面もあったでしょうが、そこで我慢して、苦しさを乗り越えゴールしていました。友達と速さを競うだけでなく、苦しいときの自分に「負けない」強さ・たくましさが育ってきていることを感じさせる持久走大会でした。運動や勉強、様々な活動をとおして、「楽をしたい」「怠けたい」「やめたい」「ずるをしたい」等の気持ちになったとき、「自分に負けるな！」とがんばられる子供たちに成長させたいものです。

資源回収への御協力

ありがとうございました

前回（6月27日）の資源回収は、中止となりましたが、今回は実施方法等を変更して実施することができました。

地域・保護者の皆様には、新聞紙や雑誌、段ボール等を学校まで運んでいただきまして、誠にありがとうございました。コロナ禍での実施ということで、課題等もあろうかと思えます。よりよい実施に向けて、PTAと知恵を出し合いながら改善していく所存です。御協力に感謝申し上げます。



わんぱくの森に
コンテナを設置



個別面談

今年度は、家庭訪問や学級懇談会等が実施できませんでした。11月24日から

11月30日までの個別面談が、保護者と学級担任が直接会って話をする初めての機会でした。一家庭15分程度の短い時間ではありましたが、貴重な時間であったと考えております。もちろん、個別面談で全ての話ができたわけではありません。子供たちの健全育成に

向けて、学校と家庭及び地域がパートナーシップの関係で連携・協力していくことが不可欠と考えおります。また、学校では、スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャルワーカー等との教育相談も実施しておりますので、お気軽に御利用くださいますようお願いいたします。

単元名「電気と私たちの暮らし」



校内授業研究会

12月2日(水) 針谷広明 教諭が、6年4組の理科の授業を公開し、本校が研究する「児童が主体的に学び合う授業」について、研修を行いました。電気は、光・音・運動などに変換して利用することができることや豆電球と発光ダイオードの点灯時間を比較して、電気の

有効利用について学習しました。子供たちは、各自に用意された手回し発電機を使ってコンデンサーに蓄電したり、グループで協力しながら実験を行ったり、結果を考察したりしていました。子供たちは、電気の不思議さを体感しているようでした。

指導者(元東京大学附属中等教育学校副校長 草川剛人 先生、上里町教育委員会学力向上指導員 根岸康雄 先生)からは、「電気という目には見えないものが見える化する工夫がされていた」「子供たちは、新たな課題に取り組む中で、必然的に今までの復習をしているものである」「実験がうまくいかないときが、学びのチャンスである」等の指導・助言をいただきました。

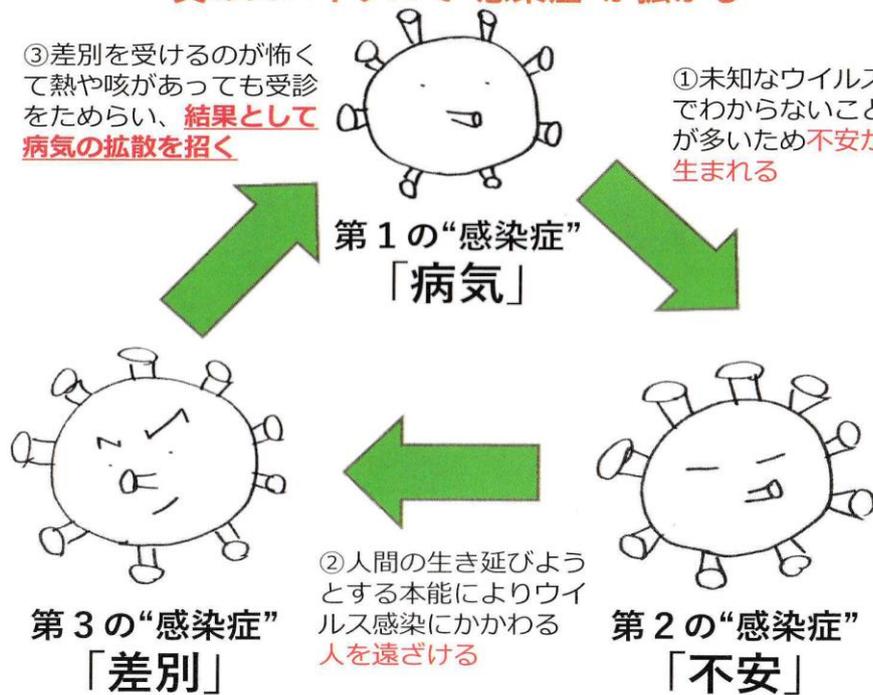


分からなかったら訊きましょう

新型コロナウイルス 3つの顔

負のスパイラルで“感染症”が拡がる

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることであります。



3つの“感染症”は どうつながっているの？

このように、新型コロナウイルスは、3つの”感染症”という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう！

(日本赤十字社の資料より)